

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
---------	-------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	世界遺産室長 山根雅之	電話番号	0852-22-6128
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	未来に引き継ぐ石見銀山保全事業		
目的	(1) 対象	県民、国民等	
	(2) 意図	世界遺産「石見銀山遺跡」の調査研究を継続し、適切な保存整備の実施と活用を図ることで、その文化遺産を未来に継承していく。	
事業概要	1. 世界遺産総合調査研究 石見銀山遺跡に関する調査研究を推進することにより、遺跡の全容解明を目指し、世界遺産としての価値を高めていく。 2. 世界遺産保存整備 石見銀山遺跡を適切に保存管理・整備することにより、世界遺産として永く後世に引き継いでいく。 3. 世界遺産総合情報発信 調査研究を通じて明らかにされた石見銀山遺跡の価値を、より広く情報発信し理解を深める。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 調査研究・保存整備の実績について、報告書・一般向け講座等により公表した回数	目標値		8.0	9.0	8.0	8.0	回
		取組目標値						
	式・定義 公表した回数	実績値	10.0	9.0				%
		達成率	-	112.5	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	141,541	178,978
うち一般財源 (千円)	141,541	160,250

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○ 調査研究 … 石造物調査、文献調査、鉱山比較調査などを実施し、研究成果として報告書6冊を刊行 ○ 保存整備 … 老朽による破損・倒壊の恐れがある建築の修理・修景、伝統的建造物の保存活用に向けた修理について、大田市及び所有者が実施する事業を補助 ○ 情報発信 … 石見銀山関連セミナーを県内（松江市）、県外（大阪府）でそれぞれ1回を開催し、シンポジウムを県外（東京都）で1回開催
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

○ 着実な調査研究を実施するとともに、報告書を全国の図書館や博物館へ発送し、研究成果の発信を実施  ○ 佐毘売山神社、豊栄神社及び伝統的建造物（民家等）の修理及び伝統的建造物である宗岡家の保存活用のための主屋木工事等について、事業を補助し、適切な遺跡整備を実施  ○ 県内、県外で計3回のセミナー、シンポジウムを開催し、参加者は約680名（平成27年度は延べ約570名）
---

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<b>①困っている「状況」</b> ・世界遺産でありながら、その価値や魅力が、一般の人に十分伝わっていない。
<b>②困っている状況が発生している「原因」</b> ・広大な面積と多様な構成資産を持ち、一見しただけではその価値を理解しにくい。 ・認知度は比較的高いが、アクセス等の周知が不十分のため、来訪意欲がそがれる。 ・一般の人に向けた、研究成果等の情報発信が十分できていない。
<b>③原因を解消するための「課題」</b> ・研究成果の一般に向けた情報発信（定期的な展示等による研究成果発表） ・来訪意欲の向上に向けた工夫 ・コース設定や素材の掘り起こし、ブラッシュアップが必要

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・研究体制等も見直した上で、調査研究をさらに深め、来訪者やセミナー参加者の指向や関心の動向も探りながら、定期的な展示等による研究成果発表や県内外セミナー等で一般にも分かりやすい情報発信を広く行う。 ・来訪者等に石見銀山遺跡を分かりやすく伝えるため、大田市などと連携し、遺跡整備・公開活用を効果的に実施するとともに、アクセス等の周知、コース設定等による回遊性向上を図る。
---